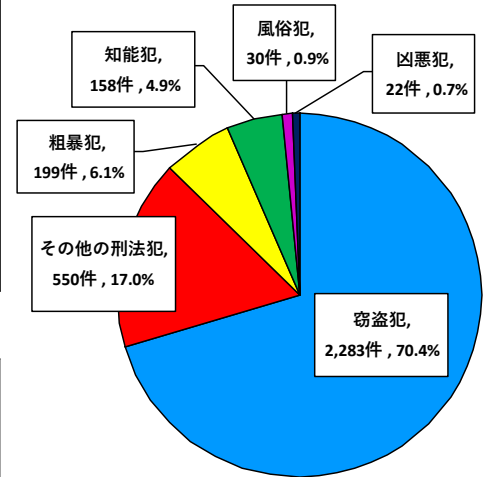
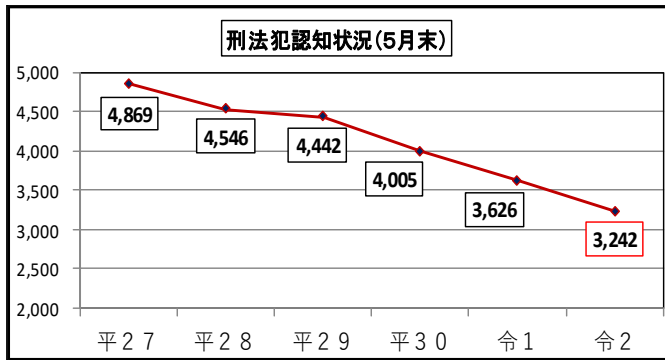


# 刑法犯・性犯罪の認知状況（令和2年5月末）

## ◎ 刑法犯認知状況

令和2年5月末 3,242件（前年同期比－384件、－10.6%）



## ○ 罪種別

	件数	増減数
凶悪犯（殺人・強盗等）	22件	+5件
粗暴犯（暴行・傷害等）	199件	-24件
窃盗犯	2,283件	-297件
知能犯（詐欺等）	158件	+12件
風俗犯（含むわいせつ事犯）	30件	+5件
その他の刑法犯（器物損壊等）	550件	-85件

刑法犯全体の  
約7割（70.4%）  
を窃盗犯が占める。

## ○ 犯罪発生傾向

主な増加犯罪（増加件数順）

空き巣	334件（前年同期比+135件、+67.8%）
職権盗	36件（前年同期比+24件、+200.0%）
倉庫荒し	60件（前年同期比+18件、+42.9%）

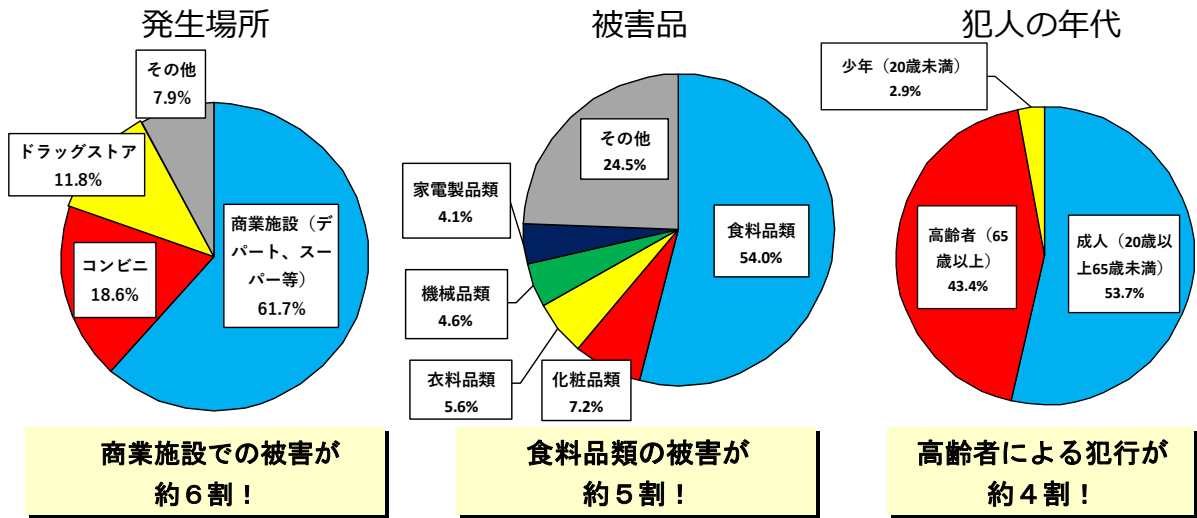
主な減少犯罪（減少件数順）

置き引き	28件（前年同期比-107件、-79.3%）
自転車盗	254件（前年同期比-86件、-25.3%）
器物損壊等	366件（前年同期比-57件、-13.5%）

- 強盗の発生は3件（前年同期比－4件）と減少している。
- 住宅対象にかかる侵入窃盗（空き巣、忍込み、居空き）が387件（前年同期比+83件）で、全侵入窃盗の約6割（61.1%）を占める。
- 万引きは商業施設（スーパー、デパート等）における発生が約6割（61.7%）を占めており、被害品は食料品が約5割（54.0%）と最も多い。

## ◎ 万引きの認知状況

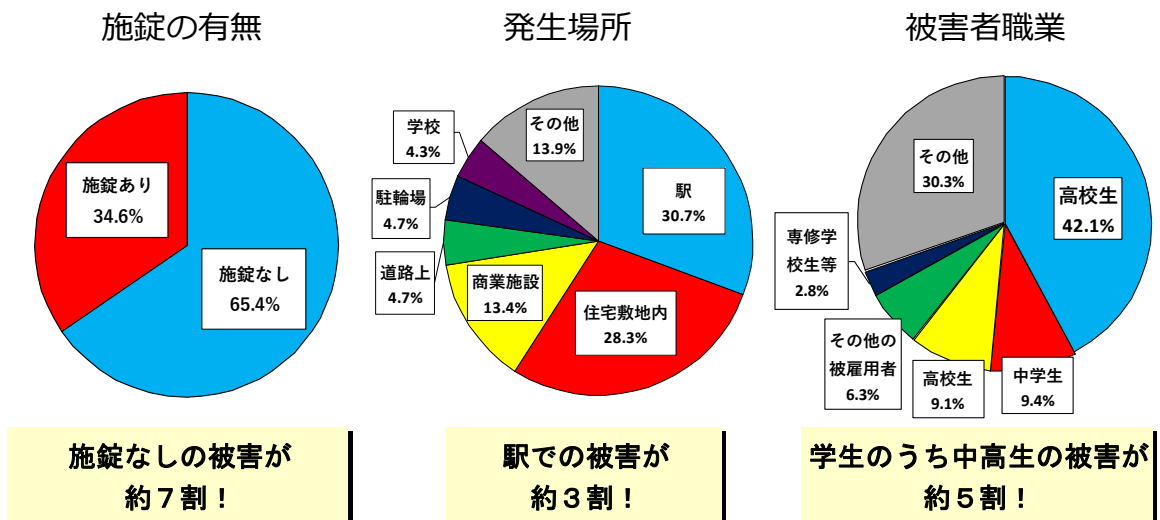
483件（前年同期比+2件、+0.4%）



福島県警察ではスーパー等に対して店内の巡回やお客様への積極的な声かけを依頼しているほか、防犯ボランティアと連携して巡回広報活動を行い、万引きを「しない」「させない」「ゆるさない」呼びかけを推進しています。

## ◎ 自転車盗の認知状況

254件（前年同期比-86件、-25.3%）



### ～毎月26日は「自転車盗被害ゼロの日」～

福島県警察では毎月26日を「自転車盗被害ゼロの日」に指定し、駐輪場のパトロール活動や施錠の有無などを確認する防犯診断、施錠の啓発運動を行い被害の防止を呼びかけています。

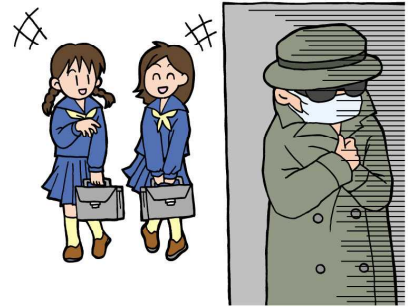
自転車には確実に施錠をしましょう。



## ○性犯罪等の認知状況(5月末)

	R2年 5月末	R1年 5月末	増減件数	増減率
性 犯 罪	22	18	4	22.2%
前 兆 事 案	112	116	-4	-3.4%
声 掛 け 事 案	35	50	-15	-30.0%
そ の 他	77	66	11	16.7%
合 計	134	134	0	0.0%

※その他とは、チカン、盗撮、つきまといなどです。



## 性犯罪の被害に遭わないために！

路上で発生する性犯罪の多くは、女性の背後から接近する手口です。性犯罪の犯人は、人通りのない場所を1人で歩いている女性を探しています。

以下のことに注意して、性犯罪の被害から身を守りましょう。



### 防犯のポイント

- 深夜早朝、1人での外出は可能な限り避ける。
- 周囲(特に背後)に注意を払い、ときどき振り返る。
- 多少遠回りでも、人通りの多い道を通る。
- 携帯電話やスマートフォンを操作しながら、音楽を聴きながらの「ながら歩き」をしない。



もしも性犯罪の被害に遭ってしまったら…

- すぐに110番通報  
警察官が犯人手配に必要な事項を尋ねます。
- 服や手はそのままに  
服や手等には、犯人に結びつく証拠資料(DNAなど)が付着している可能性があります。できるかぎり着替えや手洗いはしないでください。

**通報してください。警察はあなたや大切な人の味方です。**

## 子供を犯罪被害から守りましょう！

子供を犯罪被害から守るため、

- ・ 子供に声を掛けたり、身体を触ろうとしている人がいる
- ・ 子供にこっそりカメラを向けている人がいる
- ・ 子供の後をつけながら、ゆっくり走行する車がいる

などの不審者・不審車両を見かけたら、すぐに110番通報をお願いします。

その際、可能であれば不審者の身体特徴、服装、使用車両の色、ナンバーについても確認してください。

